

大田区立千鳥小学校 学校経営方針

大田区立千鳥小学校
校長 清水 みさ

1 学校経営の基本的な考え方

- (1) 子どもたちが分かる楽しさや、学ぶ喜びを感じられる授業を目指し、子どもたちに確かな学力の定着を図る。
- (2) 思いやりの心を育み、体力向上を図るとともに、基本的な生活習慣を身に付け、心身ともに健やかな子どもたちの成長を支援する。
- (3) 保護者・地域と連携をよりいっそう深め、信頼される学校づくりを行う。

2 学校経営の基本方針

(1) 学校の教育目標

人権尊重の精神に基づき、心身ともに健康で知性と感性に富み、郷土を愛し、郷土に貢献する 心と国際感覚をもった笑顔あふれる児童の育成を目指し、次の目標を設定する。

○ 心やさしく、じょうぶな子

思いやりのある児童の育成とともに、体力の向上を図る学校

- ア 個に応じた教育を推進し、児童一人一人のもっている「よさ」や「可能性」を最大限に発揮できる基礎となる力を育成する。確かな学力の定着を図る。
- イ 人権教育を推進し、児童に思いやりの心を育み、いじめのない学校、安心して過ごすことができる学習環境をつくる。
- ウ 豊かな心をもち、たくましく生きる児童を育成する。
- エ 体育科の授業充実を図り、休み時間には体を動かし、体力を高める。

○ 進んで やりぬく子

児童一人一人の学びを保障し、確かな学力を育てる学校

- ア 基礎・基本の確実な定着を図るとともに、確かな学力を育成する。
- イ 児童に「分かる喜び」を味わわせる授業を展開し、主体的に学習に取り組む態度を育成する。
- ウ 問題解決的な学習や体験学習を取り入れた授業を展開する。(地域人材の活用)

○ よく考え、工夫する子

家庭・地域との連携を図り、児童が自ら考え、工夫する力を育む学校

- ア 開かれた学校づくりを推進し、家庭や町会、自治会等と協働し、児童の健全な育成を目指す。
- イ ホームページの更新等を活用して家庭や地域に情報を発信し、地域に根ざした学校づくりを行う。
- ウ 家庭、地域とのつながりを大切にし、教育活動の充実を図る。
- エ 「学校支援地域本部」(チーム千鳥地域協力隊)の協力を得ながら環境整備や学校行事のさらなる充実につなげる。

(2) 今年度の取り組みの重点

「仲間と学ぶ、つながりから学ぶ～学びを自分らしさに～」をスローガンに掲げ、他者とのつながりを大切に、児童一人一人のよさや可能性を伸ばす。

① 指導力・授業力向上を目指した研究組織の構築

・学校全体で授業改善に取り組み、教員の授業力向上につなげる。

＜おおた教育ビジョン 個別目標1＞

実社会で活躍する様々な人や先端技術をもつ企業等と連携し、地域の多様な教育資源として、地域社会やウェルビーイングにつながる「もの」や「取組」を創造・発信する学習を実施する。

② 体力の向上と豊かな人間性の育成

- ・児童や学級集団の状況を教職員全体で共有し、適切な支援につなげる。

<おおた教育ビジョン 個別目標5>

特別な配慮や支援を必要とする児童・生徒への理解促進を図り、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた教育活動を推進し…

- ・関係諸機関と連携するとともに、児童、保護者がより相談しやすい学校を目指す。
- ・運動の日常化を図るとともに、道徳教育を充実させ、規範意識を養う。

③ 地域環境を生かした特色ある教育の推進

- ・家庭、地域とのつながりを大切にし、連携を密なものにする。
- ・「学校支援地域本部」(チーム千鳥地域協力隊)の協力を得ながら環境整備や学校行事のさらなる充実につなげる。

<おおた教育ビジョン 個別目標1>

多様な職歴をもつ地域ボランティア等の外部人材が、仕事の魅力や働くことの意義について講義することにより、児童自身の生き方や職業の選択について主体的に考える態度や基礎的・汎用的能力を育みます。

3 学校教育目標および経営方針の具現化

(1) 学習指導の充実(主体的・対話的で深い学びの実現)

① 魅力ある授業の実践

- ・問題解決の学習、体験的な活動を取れ入れた授業を計画的に実施し、「問い」を引き出し、主体的に学ぶ意欲を高める。
- ・自己の考えを書くことを通して表現する力を高める。

<おおた教育ビジョン 個別目標1>

計画的に学びを文章にして振り返ることにより、自らの学びを丁寧に見つめ直し、深く考える熟考につなげます。このことにより、文章表現力や論理的思考力を育てるとともに、学んだ知識・体験の定着や「深い学び」の実現につなげます。

② 多様な指導実践への取り組み

- ・算数科(習熟度別指導)では、東京ベーシックドリル等を活用して学習の定着状況を把握し、個に応じた指導の充実を図る。
- ・タブレット端末等のICTを効果的に用いた授業を展開する。児童の情報活用能力を育成する。

<おおた教育ビジョン 個別目標1>

学校の授業や家庭学習で日常的にタブレット端末を活用することにより、学習の基盤となる資質・能力としての情報活用能力を育成します。また、複数の情報を結び付けて新たな意味を見出す力、課題の発見・解決等に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力など、未来社会で様々な社会問題を解決するために必要不可欠な資質・能力を育成します。

(2) 道徳科の授業の充実

- ・道徳授業地区公開講座では、全学級授業公開を行い、協議会等の充実を図る。

(3) 外国語活動の充実

- ・低学年のALTとの授業時間の増加。英語カフェの効果的な活用を図る。

(4) 生活指導・進路指導の充実

① 個性の伸長、自信と意欲をもたせる教育の推進

- ・教師が児童一人一人と向き合い、児童のよさや可能性を引き出せるようにする。
- ・児童が自己肯定感を高め、よさを発揮し、他者のよさも認め合えるようにする。

② 基本的生活習慣の定着と規範意識の醸成

- ・「早寝・早起き・朝ごはん・あいさつ・宿題できたかな」の定着に向け、家庭と連携しながら年間を通じた取組を展開する。
- ・「相手を見てあいさつができる子」の育成を図る。

(5) 児童理解の充実と情報の共有化

- ・特別支援教育コーディネーターを中心とした校内委員会の実施及び充実を図り、組織的に児童一人一人に支援を計画的に行う。
- ・特別支援教室(サポートルーム)の巡回指導教員と連携を図り、巡回指導の内容が学級で般化できるように取り組む。

4 家庭・地域との連携

- ・学校だより、学年だより、学校ホームページなどを活用し、積極的に学校の取組を発信。
- ・地域教育連絡協議会、PTA、2・6会、地域の理解・協力を得る。
(年度内コミュニティスクール)
- ・読書活動を推進し、読み聞かせの実施、学校図書館の充実を図る。
- ・大森第七中学校との連携を図り、小中一貫教育を推進する。

心配なことがあれば、まず、担任など学校に気兼ねなくご相談ください。